佐久市議会だより

ギカイの窓

2017年（平成29年）5月1日　No.48

特集

市内に住む外国人 × 市議会

トピックス

平成29年3月定例会

18人の議員が市政を問う！　一般質問

聞かせて、あなたの夢

議会の主な活動

表紙

風薫る中込学校

撮影 丸山良平さん　場所 旧中込学校

特集

市内に住む外国人 × 市議会

外国人から見た佐久の文化や生活は、どのように見えているのでしょうか。今回は、市内に住む外国人の方にお聞きしました。

長野県は独特な文化があって面白い。今でも佐久は、目的を持った人が活躍できる場所。

—出身地は。なぜ佐久市に？—

・アメリカ出身です。アメリカで妻と知り合って結婚して妻の実家がある佐久に来ました。

・私は東京生まれで、父がイギリス人、母が日本人で、父が佐久に別荘を持っていた関係で佐久に来ました。

・アメリカ出身で宣教師として来ました。

・ブラジル出身で、主人の仕事の関係で佐久に家を建てました。

・中国出身で、主人の仕事の関係で佐久に来ました。今は介護の仕事についています。

・タイ出身で、同じ会社の日本人と結婚して佐久に来ました。

・中国出身で、中国国籍の主人が転職したことを機会に佐久に来ました。今は、2人目の出産の準備中です。

・カナダ出身です。今の奥さんとカナダで知り合って、日本文化に興味もあったので、日本へ来ました。

—佐久の印象は？—

・空気がとても綺麗で、自分の故郷に似ています。人も優しいです。

・引っ越す時に、新幹線の駅がある所にしようということで、佐久になりました。佐久に来た時、閉鎖的な雰囲気があって、最初、入りづらかったです。

―佐久の歴史と文化については？―

・長野県は独特な文化があって、東京よりはるかに面白いです。中心的な都市の権力がなかったので、自由にできたと思います。今でも佐久では、目的を持った人がいろいろ活躍できる場所で、佐久病院の若月先生などは良い例だと思います。

―市に対しての要望は？―

・日本のいろんな所に住んでみて、佐久市は子育て支援が弱いかなと感じました。例えば、ある市では、室内の広い子育てセンターで本を読んだり、遊んでいたりする姿を見ました。佐久はそれがショッピングセンターになっています。

・市役所へ来ても、外国人がどこに行けば良いのか、分からず、公共施設に外国人向けの表示や窓口が欲しいです。さらにパンフレットがあればうれしいです。

・国際交流フェスティバルの時に、外国人にも太鼓のサークル等、日本文化を紹介して欲しいです。

その他にも多くの話を聞くことができ、ありがとうございました。

平成29年
3月定例会

平成29年３月定例会を２月20日から３月17日までの26日間の会期で開き、条例改正や平成29年度当初予算など54件を可決し、意見書案など４件を採択しました。

平成29年３月定例会　議案審議結果

議案番号	議事内容・議案名	結果
1	佐久市職員の育児休業等に関する条例の一部を改正する条例の制定について	◎
2	佐久市職員の退職手当に関する条例の一部を改正する条例の制定について	◎
3	佐久市税条例等の一部を改正する条例の制定について	◎
4	佐久市債権管理条例の制定について	◎
5	佐久市積立基金条例の一部を改正する条例の制定について	◎
6	佐久市福祉医療費給付金条例の一部を改正する条例の制定について	◎
7	佐久市消費生活センター条例の制定について	◎
8	佐久市下水道事業の設置等に関する条例の一部を改正する条例の制定について	◎
9	佐久市農村研修施設条例の一部を改正する条例の制定について	◎
10	佐久市農業研修生住宅条例の制定について	◎
11	佐久市工場立地法準則条例の一部を改正する条例の制定について	◎
12	佐久市体育施設条例の一部を改正する条例の制定について	◎
13	佐久市病院事業の設置等に関する条例の一部を改正する条例の制定について	◎
14	佐久市介護老人保健施設条例の一部を改正する条例の制定について	◎
15	佐久水道企業団規約の変更について	◎
16	佐久市佐久平交流センターの指定管理者の指定について	◎
17	市道の路線認定について	◎
18	小海線岩村田駅構内岩村田踏切拡幅工事に関する施行協定の締結について	◎
19	平成28年度総合交付金総合運動公園整備事業野球場建築（本体）工事請負契約の変更について	◎
20	体育施設の指定管理者の指定について	◎
21	平成28年度佐久市一般会計補正予算（第８号）について	○
22	平成28年度佐久市工業用地取得造成事業特別会計補正予算（第２号）について	○
23	平成28年度佐久市一般会計補正予算（第９号）について	◎
24	平成28年度佐久市国民健康保険特別会計補正予算（第４号）について	◎
25	平成28年度佐久市介護保険特別会計補正予算（第３号）について	◎
26	平成28年度佐久市障害者支援施設臼田学園特別会計補正予算（第１号）について	◎
27	平成28年度佐久市特別養護老人ホーム特別会計補正予算（第１号）について	◎
28	平成28年度佐久市後期高齢者医療特別会計補正予算（第２号）について	◎
29	平成28年度佐久市介護老人保健施設特別会計補正予算（第１号）について	◎
30	平成28年度佐久市奨学資金特別会計補正予算（第１号）について	◎
31	平成28年度佐久市環境エネルギー事業特別会計補正予算（第１号）について	◎
32	平成28年度佐久市工業用地取得造成事業特別会計補正予算（第３号）について	◎
33	平成28年度佐久市茂田井財産区特別会計補正予算（第１号）について	◎
34	平成28年度佐久市国保浅間総合病院事業特別会計補正予算（第１号）について	◎
35	平成28年度佐久市下水道事業特別会計補正予算（第１号）について	◎
36	平成29年度佐久市一般会計予算について	○
37	平成29年度佐久市国民健康保険特別会計予算について	○
38	平成29年度佐久市介護保険特別会計予算について	◎
39	平成29年度佐久市障害者支援施設臼田学園特別会計予算について	◎
40	平成29年度佐久市特別養護老人ホーム特別会計予算について	◎
41	平成29年度佐久市後期高齢者医療特別会計予算について	◎
42	平成29年度佐久市住宅新築資金等貸付事業特別会計予算について	◎
43	平成29年度佐久市介護老人保健施設特別会計予算について	◎
44	平成29年度佐久市奨学資金特別会計予算について	◎
45	平成29年度佐久市環境エネルギー事業特別会計予算について	◎
46	平成29年度佐久市茂田井財産区特別会計予算について	◎
47	平成29年度佐久市国保浅間総合病院事業特別会計予算について	◎
48	平成29年度佐久市下水道事業特別会計予算について	◎
49	十二川原工業団地用地の取得について	○
50	医療事故に係る損害賠償の額を定めることについて	◎
51	平成28年度佐久市一般会計補正予算（第10号）について	◎
52	平成28年度佐久市国保浅間総合病院事業特別会計補正予算（第２号）について	◎
53	監査委員の選任について	◎
54	農業委員会委員の任命について	◎
諮問第1号	人権擁護委員の推薦につき意見を求めることについて	◎
意見書案第1号	免税軽油制度の継続を求める意見書の提出について	◎
意見書案第2号	地域活性化の拠点となる望月高校の存続を求める意見書の提出について	◎
意見書案第3号	指定給水装置工事事業者制度に更新制の導入を求める意見書の提出について	◎

【結果の表示】　◎ 全会一致で可決・採択　○ 賛成多数で可決・採択

平成29年３月定例会　賛否一覧

会派名	新政ネット											清和会				公明党			日本共産党			新緑会			無所属	議決結果
議員名 / 議案等番号　議案等略名	菊原初男	中澤兵衛	中條寿一	市川稔宣	杉岡務	市川将	神津正	高橋良衛	大井岳夫	関本功	吉川友子	竹花美幸	小金沢昭秀	篠原勤	柳澤潔	江本信彦	和嶋美和子	内藤勝利	井出節夫	小林松子	内藤祐子	吉岡徹	三石義文	井出浩司	飯島雅則	
議案第21号　平成28年度佐久市一般会計補正予算（第８号）について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	■	■	■	○	○	○	■	原案可決
議案第22号　平成28年度佐久市工業用地取得造成事業特別会計補正予算（第２号）について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	■	■	■	○	○	○	■	原案可決
議案第36号 平成29年度佐久市一般会計予算について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	■	■	■	○	○	○	■	原案可決
議案第37号 平成29年度佐久市国民健康保険特別会計予算について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	■	○	○	○	○	○	○	○	■	■	■	○	○	○	■	原案可決
議案第49号 十二川原工業団地用地の取得について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	■	■	■	■	○	○	■	原案可決

※「○」は賛成　「■」は反対　「退」は退席　「欠」は欠席　議長（小林貴幸）は採決に加わりません。

３月定例会における請願・陳情等状況一覧は16ページへ

常任委員会審査報告

平成29年度当初予算案可決
望月高校存続を求める請願採択

総務文教委員会　委員長　高橋良衛

新年度予算には、全消防団員防寒着、安全靴の支給、市の施設の指定管理者の経費などが可決されました。

望月高校の存続を求める請願は全会一致で採択となりました。

◆予算審査でこんな意見がでました

・消防団員の活動において、環境整備は重要だが、安全対策も整備すべき。

・指定管理者が実施する事業について、市がしっかりモニタリングをするように。

・地域おこし協力隊の成果について、議会や市民に報告すべき。

・図書費について、今後は更に拡充の余地があるのではないか。

◆請願陳情審査から

望月高校は川西地区の発展に寄与し、不登校生徒や発達障がい生徒へのモデル校として実践してきたことから、この高校のノウハウはとても大切であり、採択すべき。

平成29年度当初予算案可決
指定給水装置工事事業者制度の陳情可決

経済建設委員会　委員長　関本功

・平成29年度予算の8款土木費の内、公園管理委託料及び樋橋土地区画整理事業費について、討論、採決の結果原案可決。

・指定給水装置工事事業者制度に更新制の導入を求める意見書の提出陳情は原案可決。

◆予算審査でこんな意見が出ました

反対　2億2，990万円の公園管理委託料の半分が平尾山公園の維持管理委託料になっている。

賛成　平尾山公園は佐久市の観光の要所であり、存続していかなくてはいけない中で、一定の予算はつけなくてはならない。

反対　樋橋地区は佐久平の中でも一番の優良農地であり、宅地化すること、ましてや公共事業で大手資本がアミューズメント施設を作ることは佐久市のまちづくりにそぐわない。

賛成　樋橋地区は、佐久市の将来のまちづくりのために、都市型利用を図っていくという位置づけの土地であり、将来の発展のために開発は必要だ。

平成29年度佐久市国民健康保険特別会計予算案を可決

社会委員会　委員長　江本信彦

国民健康保険は、突然のけがや病気のときに備えて、安心して医療を受けられるように、加入者がお金を出し合い、必要な医療費などにあてる助け合い制度です。

◆予算審査でこんな意見が出ました

反対　公平性の観点について、保険料（税）が収入に対する負担率を比較すると、かなりの差がある。単なる制度上の公平ではなく、弱者を救っていく為の行政であるべきと考える事から反対。

賛成　国民健康保険を維持し、恩恵を受けられる体制を作ることが最終目的である。国や他の保険団体からもかなりの資金が入っていることから、負担してもらうべきは負担してもらう必要性があるとの観点から賛成。

18名の議員が市政を問います

一般質問

●一般質問の紙面は、質問した議員個々の責任で編集しております。ご不明な点は、議員にお尋ねください。また正式な記録は会議録でご覧ください。

●佐久ケーブルテレビ等やインターネットによる動画配信を行っていますので是非ご覧ください。

動画配信　QRコード

旧美笹自然観察園の維持・管理と利活用について

吉岡（よしおか）　徹（とおる）

Q 同園の現状と位置づけは。

A 同園は平成23年に廃園となったが、所管は従前通り観光交流推進課になっている。

同園の湿地性植物群は特徴的であり、自然観察が出来る貴重なフィールドの一つと認識している。現在、策定に着手している第二次環境基本計画における生物多様性地域戦略においても、同園の存在は欠かせない。

Q 同園の小中学生の自然教育の場としての活用法は。

A 昨年来、校長会にも諮って検討を開始している。狭義の教科以外にもクラブ活動の一環としてとの考えもある。本年5月予定の同園での観察会には、現地理解のいい機会として教師にも参加してもらうつもり。

Q 同園の維持・管理・利活用の現状について

A 園全体を市内の自然愛好団体「草友会」に無償貸与（使用貸借）して、草刈り、清掃、整備、訪問者の接遇等を行っていただいている。年間の訪問者は市外からを含めて年間約100名程。

費用については契約により資材費、労賃等すべて同会が負担している。資金的な支援については「佐久っと支援金」制度があるが、それ以外でも同会からの要請があれば市として必要な支援は惜しまない。

Q 実態に合った所管換えは。

A 同会や関係部署と協議しながら検討していく。

草刈り準備中の草友会のみなさん

職員は市民を守る最後の砦！信頼され、愛される職員であり続ける事！

飯島（いいじま）　雅則（まさのり）

Q 公共施設等総合管理計画において、市民説明会後に議会で直近データが公表された。40年間で必要な更新費用は約3千億円、年間約76億円が必要となるとの事。これだけでも大変な金額だがその算出根拠が甘すぎる。この試算だと、10年間でたったの3％しか建設費が上がってない事になるが作業員賃金単価をみると、26％も値上がりしている。設計単価の補正率は過小ではないのか。

A 国交省の出している建設工事費デフレーターを指数として使っている。

Q 「民間活力の導入」という言葉は、保育園や図書館を民営化するという事ではなく、総合的な方向性を記載しただけであり、個々施設の管理計画を検討する際の決定事項とはしないという認識で良いか。

A 様々な視点の一つである。

Q 市長の年間総報酬は、約1千800万円。退職金は約2千万円。4年間の総収入は約8千800万円と伺ったが、市長はそれが適正だと考えているか。

A 市民によって判断される。

Q 職員は市民を守る最後の砦である。市民に信頼され、愛される職員であり続けるため、『職員は全体の奉仕者である』という研修を部課長に行っているか。

A 部課長だけではなく、全職員に行っている。

地域の歴史文化の活用について 臼田地区新小学校整備について

小金沢（こがねざわ）昭秀（あきひで）

Q 外国人観光客に対して、中山道沿線の自然や食文化などの魅力を発信する方法と誘客についてお聞きしたい。

A 長野県在住の外国人ブロガー5人を招いて、「中山道佐久の道ガイドの会」の説明を受けながら、「茂田井間の宿」から「塩名田宿」を歩いた。浅間山や田園風景を眺めながら、中山道の自然を感じてもらい、駒月みそかつ丼や佐久鯉のあらいを食べてもらい、食の魅力を紹介した。外国人目線での中山道の魅力などを長野県の情報サイトやブロガーのフェイスブックで発信してもらった。

Q ワークショップの提言を受け、学校づくりをどのように進め、開校は何年頃を予定しているか。

A 来年度に臼田地区新小学校建設協議会の設置と開催、基本計画の策定等を行う。その後、基本計画を基に基本設計、実施設計等を進めていく。開校の時期は今年度から概ね7年から9年後を見込んでいる。

Q 新小学校の通学路、通学方法についてどのように検討していくか。

A 新年度に各通学路検討部会の皆さんと合同点検を予定している。今後、4地区の地域性や進展する道路状況等を加味する中で、児童にとってどのような通学方法が望ましく、安全で安心して通学できるかを検討する。

茂田井間（あい）の宿（しゅく）

子どもの医療費について・地方版ハローワークの設置について

江本（えもと）　信彦（のぶひこ）

◆子ども福祉医療費給付金の対象者拡大について

Q 佐久市では来年度から福祉医療費給付金の対象を年度内に満18歳に達する子どもたち迄を対象に行うとしているが、その理由は何か。

A 佐久市が「まち・ひと・しごと創生総合戦略」を作成するにあたり、市民に実施したアンケートの結果「理想の子ども数を持てない理由」には83％の方が経済的な不安を上げている。この事から安心して子育てができる環境づくりを推進し、「佐久市の暮らしやすさ」の度合いを高めることが必要である。その具体的な支援の一環として子どもの福祉医療費の支給対象者の拡大を図るものである。

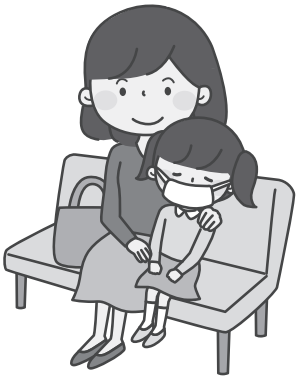
◆地方版ハローワークについて

Q 佐久市では第二次総合計画において、「地方版ハローワーク」を設置するとの施策が盛り込まれた。今後、どのように取り組むのか。

A 佐久市への移住者のみならずU・I・Jターン希望者など、当市での就労を考えている様々な求職者に職業紹介を行う事により、市内企業への就職を促進し、佐久市への新たな人の流れを生み出していきたい。

◆その他の質問項目

・結婚支援事業について
・発達障がいがある児童生徒への支援について
・新電力の導入について



佐久市辺地対策について災害発生時の対応について

中條（なかじょう）　寿一（としかず）

Q 佐久市の辺地対策事業について、市の中心部が発展し周辺地域が寂れていく状況を危惧する住民もいるが、中心市街地の活性化により得られた市の税収が、辺地等をはじめとした周辺地域に分配されることにより、周辺地域の生活機能の維持・確保のための事業を進めることができると考えるが、佐久市の辺地対策の実施状況は。

A 辺地対策とは「辺地に係る公共的施設の総合整備のための財政上の特別措置等に関する法律（いわゆる辺地法）」に基づき、辺地における住民の生活の質の向上を図るため、当該辺地に係る公共施設の総合整備計画を定め、この計画に基づいて実施する公共施設の整備事業である。

Q 災害発生時の佐久平駅周辺の備えについて。

A 駅周辺が被災した場合は、多くの市民の皆様のほか、観光客や買物客など、不特定多数の方への対応が必要となる。

災害時の備えとして、市民交流ひろばへ防災用マンホールトイレを5ヶ所設置しているほか、耐震用緊急用貯水槽を佐久水道企業団に設置していただいている。交流センター、イオン佐久平店様を含めて、多くの方々の緊急避難場所が確保できるものと考えている。

「消防案内」システム導入を・県立武道館について・歯周病検診の無料化

柳澤（やなぎさわ）　潔（きよし）

Q 災害時、特に台風時などにおいては、早く正確な情報が求められており、「消防案内」のようなシステム導入を検討して欲しいが、防災無線放送の聞きとりにくい地域への対応として、防災ラジオの導入ができないか。

A アナログとデジタルに関する技術的課題があるため困難な状況である。

Q 日本武道館では演歌からポップスなど幅広くコンサートが行われている。

クラシックではベートーベンの第九演奏会やフジコ・ヘミングのピアノコンサートが行われている。また、志賀高原総合会館は多目的施設だが、小澤征爾氏が監修して背面と天井に可動式反響盤を設置したのでクラシックにも対応できる。佐久市に建設予定の県立武道館でも検討して欲しい。県立武道館での多目的に利用できる範囲は。

A 武道の他にもダンス・マーチングバンド・相撲・観劇などが考えられる。

Q 現在の国民健康保険年間給付費71億円の5％は縮減でき赤字分を解消できるので、市民への積極的な検診と歯磨きを推進するべきだが、歯周病の無料化を契機にデータ集積できないか。

A 4月から無料化が始まるのを契機にデータ収集と広報をする。

県立武道館イメージ図

樋橋地区開発支援事業・高齢者タクシー補助・川西赤十字病院への財政支援について

小林（こばやし）　松子（まつこ）

Q 樋橋地区開発支援事業においてイオンの出店計画の確実性については。

A イオン側と準備組合が合意書締結に向けた調整を進めている。

Q 佐久市の施行ではないのでリスクは組合が負うということか。

A 大きな関心事は財源の確保。保留地の売却見込みが重要な要件となっている。

Q 30億円もの樋橋地区開発支援事業は中止すべきでは。総事業費はいくらか。

A 測量等しているところで総事業費は示せない。樋橋地区は放置すれば乱開発による、いわゆる虫食い状態となる可能性が高いので、健全な開発を推進する。

Q 近隣の多くの自治体で実施しており、佐久市でも要望が高いのが高齢者タクシー補助制度だが実施できないか。

A きわめて重要な課題だと思っている。

Q 川西赤十字病院の存続について市長はどう考えているか。

A 川西赤十字病院は大切な役割を果たしている。存続をしていくことが必要。

Q 医療機器の多くは購入から10年以上経過している。公平な医療を受けられるためにも、購入補助が必要だが。

A 川西赤十字病院での検討状況を見守りたい。

公正・公平でガラス張りの佐久市政を
協定書締結後の定款変更で良いのか

井出（いで） 節夫（せつお）

Q 佐久南交流拠点施設の指定管理者に樫山工業㈱とJA佐久浅間の共同体が選ばれた。提出された定款に「飲食業」の記載がなかった。権利能力なき法人が選ばれたが。

A 定款の記載については募集要項で要件づけていない。応募時になくても管理運営の業務開始までに手続きをすれば問題なく、審査対象とした。

Q 申請時に何で定款や謄本を提出させるのか。共同体は議会で指摘されたことを受けて、「平成28年5月頃までには樫山工業㈱の定款を変更して飲食業務が行われるようにします」との公式文書を市長に提出しているではないか。

A 審査時点ではそういったことを求めていない。

Q 建設業の入札参加資格などでも定款に記載があり、知事許可を取得していることが要件だ。権利能力のない法人を審査対象とするのは特別扱いではないか。

A 議会から指摘いただいて関係企業から飲食業が行えるようにする旨の公式文書が出された。定款の変更は簡易にできる。実質的な損害が市民に及んでいないので瑕疵は治癒された。

◆その他の質問項目

・南パラダのスキー場等の電気は無料で使い放題か。

・北パラダは全て樫山工業に売り渡したのか。

・樋橋地区開発は中止を。

松本・佐久地域高規格道路建設促進運動と期成同盟会について

篠原（しのはら） 勤（つとむ）

Q 「松本～佐久地域高規格道路建設促進期成同盟会」設立の目的と経過について。

A 松本市、佐久市、立科町、長和町（現在）等の首長・議長が発起人となり、平成9年、松本地域から佐久地域を地域高規格道路で結び、両地域の交流と産業経済などの発展を図る目的で設立した。現在、市町村合併により上田市も交えた10市町村で構成されている。

Q 期成同盟会の活動について

A 本年も8月の総会で決議した要望書を持って、同盟会正副会長により長野県・国土交通省・財務省・県選出の衆・参議院議員へ早期実現の要望活動（年一回）を行った。

Q 県の回答について。

A 松本・佐久を結ぶ路線は重要な路線と認識しているが、地域高規格道路整備率が低く、国においても平成10年以降マスタープランの見直しがなく、次の見直しの時期も見えない。

Q 今後の誘致活動について。

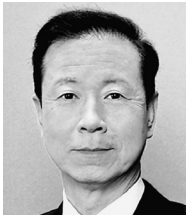
A 議員提案のように関係10市町村等の後押しが必要であり、「松本・佐久地域高規格道路」の必要性を広報やホームページ等を通じ、佐久・松本が強い連携の下、根気強く本期成同盟会で要望していく。

◆その他の質問項目

・中部縦貫自動車道の（福井市～高山経由～松本市）進捗状況。

・木質バイオマスエネルギー利用促進について。

柳田市政の総括・第二次佐久市総合計画・商業活性化策・原東一号線整備



杉岡（すぎおか）　務（つとむ）

Q 柳田市政の総括として、「世界最高健康都市」実現に対する成果について。

A 「世界最高健康都市の実現」のための事業は、本市が今後20年、30年先も「健康長寿のまち」であり続けるために必要な事業であり、着実に推進してきているものと考えている。

Q 第二次佐久市総合計画における「将来都市像」について。

A 本市に住む全ての「ひと」が、「暮らしやすい」、「暮らして良かった」と思えるまち、心身ともに健やかに暮らせるまちを10年後の目指す姿としたい。

Q 佐久市内商業活性化施策としての〝空き店舗〟対策及び、財政的支援策の拡充について。

A 空き店舗の解消を図るため、国の「空き店舗対策等の事業」補助には上乗せ支援をし、市独自の補助制度として、空き店舗を活用して開業する際の改修費、賃料に対する補助支援に努めている。商工業振興事業補助金は、時代の要望に合った制度の見直し、スクラップ・アンド・ビルドも含めて検討していく。

Q 都市計画道路、原東一号線（滑津大橋～旧国道254号間）の整備に向けた進捗状況について。

A 当路線は、道路の幅員や計画線の検討が必要であり、事業化についての検討と併せて整理していく。当面の対策として、待避所の設置を、新年度には工事発注する予定である。

滑津大橋～旧254号間　一日も早い整備を!!

重症心身障がい児の短期入所・ＪＲとの連携した観光キャンペーンについて

高橋（たかはし）　良衛（よしえ）

◆重症心身障がい児(者)の短期入所について

Q 本事業の導入決定までの経過について

A 平成22年から重度の障がいを持つ児童の保護者と交流会から「キッズ・ケア・チャレンジ」を実施。「レスパイトケア」の有用性を確認し、市立浅間病院において実施決定となった。

Q 浅間病院では空床型利用での受け入れだが、満床時や利用が重なったときの対応について。

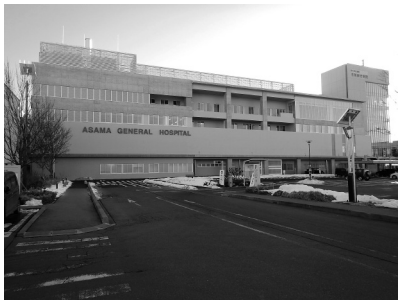
A 現在の病院のベッド稼働率からベッドの確保は可能である。利用希望日を病院と確認してからの利用であり、予約日に入所いただけないことはない。

◆ＪＲと連携した観光について

Q 信州ＤＣに対して佐久市の取り組みについて

A 7～9月の開催期間中、佐久平駅隣接のプラザ佐久で39種類の日本酒を佐久地域13の酒蔵から3種類ずつセレクトし、試飲できる空間を計画中。地酒やスイーツ店を巡るスタンプラリーも開催する。ＤＣ期間中の土日、佐久平駅から臼田駅のチェックポイントを中心とした「市内巡回バス」を運行する予定。

信州DCにあわせて小海線を走る車両（イメージ）



レスパイトケアが始まる市立浅間病院

東会館の整備・文化財の保存と活用・情報社会について

せきもと　いさお
関本　功

Q 来年度予定の東会館耐震診断実施後の整備の進め方は。

A 耐震診断の結果に基づき効率的、効果的な会館施設につき検討を進め、現地改築のほか、移転改築や改修など施設の長寿命化や他の施設との併設も含めた複合化・多機能化など、施設の統廃合も視野に入れ、整備計画の検討を行う。

Q 指定文化財の今後の地域振興等の活用はどうか。

A 長野県教育委員会が申請者となり、「唱歌のふるさと山国信州の風景と近代学校遺産群」として、当市の「旧中込学校」「旧大沢小学校」とともに「旧志賀小学校南棟」につき指定文化財となるよう協議中。今後これらの指定文化財を活用しながら、地域振興につなげていく。

Q インターネットが普及し情報化が進んでいるが、その負の影響として、ネットいじめ等に対する児童・生徒の現状と、どのような対応を進めているか。

A 電子メディア機器に関するアンケートでは、「夢中になりすぎて寝る時間が遅くなった」「ネットで悪口が書かれ、トラブルになった」といった悩みを抱えている実態を保護者へ発信したところ、市PTA連合会が危機感を持ち、子どもと電子メディアについて考える協議体を立ち上げ取り組んでいる。また、市内の公立24小中学校の代表児童・生徒による意見交換会を実施。

佐久キッズメディアセイフティ会議の様子

スポーツの力で佐久市を元気なまちへ 土づくりセンターいよいよ改修へ!!

たけはな　みゆき
竹花　美幸

◆スポーツ振興で地域活性化を

Q 東京オリ・パラ、県は国体招致を目指している中で、スポーツによる健康で活力あるまちづくりを進めるべきだがどうか。

A ウォーキングやマレットゴルフの普及を図っていく。市内の宿泊施設と連携したスポーツ合宿の誘致、ハーフマラソン大会の開催、プロスポーツの試合の誘致など、スポーツツーリズムを推進し、佐久市の魅力をPRしていく。スポーツによる賑わいのあるまちづくりにつなげていきたい。

◆土づくりセンター早く改修を

Q 佐久市望月土づくりセンターは施設の稼働から15年が経過し、設備の老朽化が進んでいる。課題をどうとらえているか。

A 土づくりセンターで製造された堆肥は、長者原地区の大規模農家をはじめ、市内各地でご利用いただいている。追肥製造機器の故障が生じているほか、製造追肥の品質が不安定な状況となっている。また、周辺地域への臭気の発生や施設の運営コストが増加していることなどが課題である。

Q そのような課題を放置しておくことは許されず問題だ。改修計画に関してお聞きしたい。

A 追肥製造設備からホイールローターにより撹拌する方法に切り替える。臭気も大幅に改善できる。平成30年度以降に実施し、2年程度を要する見込みである。

「あすチャレ！スクール」を開催予定
【パラスポーツ体験】

徹底した情報公開・困難を抱える親たちに寄りそう支援を・国保について

内藤（ないとう）　祐子（ゆうこ）

◆徹底した情報公開について

Q 教育委員協議会をなぜ非公開としたのか。

A 自由闊達な協議、研鑽の場である。

Q 公開の教育委員会に協議会の報告は項目のみ。どんな協議をしたのか全く見えない。19市の教育委員会の状況を聞き取り調査したが、これほどの非公開性は佐久市のみ。公開の教育委員会で協議すべきではないか。

A よく教育委員さんの話を伺う。充分説明できるかが大事。

◆困難な子育てに支援を

Q 年額488万円でできる準要保護者の就学援助給食費10割支給を。

A 要保護者との区別が必要なので、導入しない。

Q 医療的ケアの必要な重症心身障がい児（者）のレスパイトケア（浅間病院での空床利用型短期入所事業）が29年度開始となるが、夏頃には利用開始できるか。

A 事業申請手続きなどに最低4ヶ月はかかるが、努力する。

◆国保について

Q 所得240万円の自営業者、30代夫婦子ども二人で、11・1％値上げでいくらになるか。

A 36万2千700円。

Q 2年前より更に3万8千600円上がり、何と所得の15％を超える。給料1ヵ月14万円、20代独身、非正規労働者の国保税は。

A 13万2千800円。

７年越しの切実な親の要求が叶い、レスパイトケア（重症心身障がい児（者）の空床利用型短期入所事業）が始まる浅間病院

保育園での交通安全教育 高齢者の交通安全対策

内藤（ないとう）　勝利（かつとし）

Q 全国的に7歳児の交通事故が突出して多いが佐久市での小学1年・2年生の交通事故人数は。

A 平成27年小学生の歩行中の交通事故による負傷者は7人、うち1年生3人、2年生1人。

Q 交通事故に遭わないために就学前の交通安全教育が重要であると言われているが、保育園での交通安全教育について伺う。

A 公立保育園では年2回交通安全教室を実施。警察や指導員を招き、横断歩道の歩き方を学んだり、実際に道路に出て実地指導を受けている。日々の保育においても散歩や遠足の際は事前に指導し、実践を通して交通安全教育を行っている。

Q 小学校入学前の交通安全教育の重要性について市長に伺う。

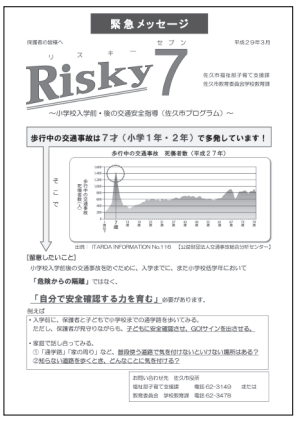
A 7歳がリスキー（危険）な年齢である事を伝える方法を検討し、幼・保育園にも伝えていく。

Q 佐久市内における65歳以上の高齢者が当事者となった交通事故の件数、死傷者の数は。

A 平成28年141件、死者2名、負傷者187名で全人身事故件数の37・7％となっている。

Q 高齢者に対する交通安全対策の現状と今後は。

A 市内老人クラブ等で交通安全教室を開催。寸劇や講話・啓発ビデオ上映や夜行反射材等の配布、自主返納制度と返納者への支援等の周知を行っている。今後も自主返納者へのバス共通回数券交付の支援も継続する。


緊急メッセージ

保護者の皆様へ　平成29年3月

リスキーセブン Risky 7

佐久市福祉部子育て支援課
佐久市教育委員会学校教育課

～小学校入学前・後の交通安全指導（佐久市プログラム）～

歩行中の交通事故は７才（小学１年・２年）で多発しています！

歩行中の交通事故　死傷者数（平成２７年）

出典：ITARDA INFORMATION No.116　【以前財団法人交通事故総合分析センター】

【留意したいこと】

小学校入学前後の交通事故を防ぐために、入学までに、また小学校低学年において

「危険からの隔離」ではなく、

「自分で安全確認する力を育む」必要があります。

例えば

・入学前に、保護者とすどもで小学校までの通学路を歩いてみる。
ただし、保護者が見守りながらも、すどもに安全確認させ、GOサインを出させる。

・家庭で話し合ってみる。
①「通学路」「家の周り」など、普段使う道路で気を付けないといけない場所はある？
②知らない道路を歩くとき、どんなことに気を付ける？

お問い合わせ先　佐久市役所
福祉部子育て支援課　電話 62-3149　または
教育委員会　学校教育課　電話 62-3478

リスキー７啓発チラシ

交通弱者に優しく、望まれるバス交通網（デマンドタクシー）の実現を！

大井（おおい）　岳夫（たけお）

Q 本年10月にバス運行形態がリニューアルされるが、利用者のほか、これまで利用したくてもできなかった方の声を、どのように吸い上げる努力をしたか。

A 34名で組織する協議会を開催したほか、調査員がバスに乗り込み利用者への聞き取りを実施し、それぞれの意見を計画素案へ反映させた。利用していない方への直接的なアプローチはしていないが、今後、声を聞く場を設けたいと考えている。

Q 親の負担軽減を目的とした、荒天時等に中学、高校生が通学に利用できるダイヤ等を設けられないか。

A まずは通勤・通学・通院、買い物に適するダイヤを検討しているが、夜間の便についても、可能な範囲で検討したい。

Q デマンドタクシーは基本的に停留所を活用する形態となっているが、停留所まで歩いて行けない方もいる。登録制にして、自宅前もしくは自宅近くまでの送迎を実現すべきと考える。

A 現段階では自宅前までの送迎は考えていないが、様々な視点で高齢者の足の確保を検討していくことが必要と考えている。

10月から運行を開始する新たなデマンドタクシーにおいても、現在の臼田・望月地区デマンドタクシーで運行しているフリー乗降区間の設定など、路線内での運用については可能な範囲で対応を検討していきたい。

現在運行中の市内巡回バス

10万都市佐久市が目指す将来都市像の実現には、人材育成と地域の絆が重要

中澤（なかざわ）　兵衛（ひょうえ）

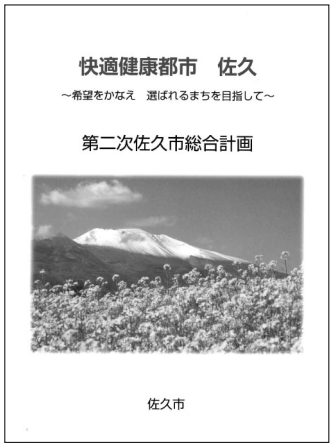
Q 第二次佐久市総合計画を策定し、将来都市像を「快適健康都市　佐久」と掲げているが、実現に向けてどのようにまちづくりを進めていくのか。

A 第二次佐久市総合計画では、10年後の目指す将来都市像を「快適健康都市　佐久」とした。これを具現化するために、政策分野ごとに7本の柱を定め、具体的な施策を展開して行く。各分野を横断的に結ぶ基本理念の一つとして、「新しい発展の可能性に挑戦するまちづくり」がある。様々な可能性を快適健康都市という形に結実させるため、職員一丸となり挑戦し続けていく。

Q 将来都市像を具現化していくためにも、将来を担う人材育成は重要である。学校及び地域社会が連携し、強い絆で支え合い励まし合う社会の構築が大切と考えるが。

A 平成29年度「佐久市コミュニティスクール」体制が市立全小中学校で整うことから、これまで以上に「地域の教育力」の継続的な活用が期待できる。

地域社会においては、人の絆・社会の絆を大切にする地域ぐるみの青少年健全育成事業を推進している。家庭・学校・地域・青少年関係団体が緊密に連携することによって、将来を担う子ども達が多様な人間関係を築きながら育っていく、そんな社会環境づくりを推進する。



市の発展に欠かせない周辺部の発展
豊かな自然を活かした自然保育

吉川（よしかわ）　友子（ともこ）

◆人口変動について

Q 周辺部の人口減少は著しい。市としての分析は。

A 自然減の要因としては、理想の子供数を持てないことや高齢化による死亡数の増加が原因とみている。地区別増減は表参照。

Q 周辺部の集落を維持していくことは佐久市が誇る豊かな自然を保持していくために必要だと考えるが、「選択と集中」とは。

A 地域拠点に機能を集約し、それをつなぐネットワークづくり。

◆都市計画税・区域について

Q 都市計画税は目的税であるため、使途を明確に公表する必要がある。また公園管理委託料を見ると、旧佐久地域に集中して使われていると思われる。都市計画区域を見直すべきでは？

A 公表については工夫していきたい。都市計画区域はいずれかの地域を除くような見直しは妥当でない。

◆周辺部の発展について

Q 水の保全や災害の防止など周辺部の発展は佐久市の発展に必要不可欠では。

A 川西日赤への財政面や移住促進などにより支援してきた。地域の人が魅力を発見し磨いていくことを行政も支援したい。

◆自然保育について

Q 認定後の取り組みは。地域や学校との連携は。

A 外での活動をより意識的に行っている。保護者への周知、多面的な連携を心がけたい。

佐久市地区別の人口増減

	平成17年	平成27年	増減	増減率(%)
浅間	27,089	30,772	3,014	10.86
野沢	17,081	17,638	−407	−2.26
中込	15,787	15,433	−354	−2.24
東	6,986	7,028	42	0.60
臼田	15,311	13,698	−1,613	−10.53
浅科	6,370	5,971	−399	−6.26
望月	10,205	8,828	−1,377	−13.49
計	100,462	99,368	−1,094	−1.09

行政視察報告

「健康長寿埼玉モデル」埼玉県保険医療部
在宅医療・介護多職種連携「柏モデル」

地域医療問題特別委員会

◆健康長寿埼玉モデル

埼玉県では健康長寿埼玉モデルを全県で展開しています。平成24～26年度に先行して7つのモデル市が「運動」「食」「団地まるごと」をテーマに健康づくり事業を行いました。その内、東松山市の「毎日1万歩運動」と加須市の「筋力アップトレーニング」では、医療費の抑制効果が実証されています。

県では全県に参加を呼びかけ、現在28市町村が参加しています。また、健康マイレージ事業や健康長寿サポーターの養成拡大も図っています。

◆千葉県柏市における長寿社会のまちづくり「柏モデル」

柏市は、東京のベッドタウンとして、高度経済成長を機に人口が増加し、発展したまちですが、急速な高齢化が進んでいます。

市では「すべての高齢者が、その人らしく、住み慣れた地域で安心していきいきと暮らせるまち柏」を目指しています。

市が主導で産学官が一体となり「柏市豊四季台地域高齢社会総合研究会」を発足。三者協定を締結し、そこを中心に取り組んでいます。

また、柏市医師会・歯科医師会・薬剤師会の共同で「柏地域医療連携センター」を建設し、市に寄付をしています。

2つのモデル事業を視察し、今後高齢化率が上がる佐久市の参考にしたいと思います。

埼玉県庁で健康長寿担当職員より説明を受ける

平成28年度　佐久市議会に対する傍聴者アンケート結果

佐久市議会では、議会改革・議会の活性化について検討を進めております。
市民の皆様のご意見も参考とさせていただくため、議会を傍聴された皆様にアンケート調査のご協力を毎年、12月定例会においてお願いしております。

アンケート結果の概要をお知らせします。

今回の傍聴者は、のべ124人で、前年と比べて33人増となり、そのうちアンケート回答者は、79人で前年に比べて13人増えました。

●議会を傍聴された目的・理由は何ですか。（複数回答可）　　無回答：６人

市議会や市政に関心があるから	57	議員に誘われたから	34	今回の質問内容に関心があったから	44
各種団体や知人に誘われたから	6	その他	9		

●議会に求める活動は何ですか。（３つまで回答可）　　無回答：８人

市民の声を市政に反映する	57	市議会議員の資質向上	34	行政に対するチェック機能の強化	44
議員立法など活動の強化	6	定期的な活動報告	9	夜間・休日議会の開催	5
情報の公開	22	広報の充実	6	その他	1

●あなたは、今の市議会をどのように評価しますか。　　無回答：２人

評価する	8	ある程度評価する	29	あまり評価しない	7	評価しない	2

ある程度評価する意見

議員と語ろう会の形式が
車座になったことや、
議会だよりのリニューアルなど
以前より、身近でわかりやすくなって
きていることが感じられるから。

40代女性

もっと具体的な答弁を
してほしかったという
思いがありました。

60代女性

あまり評価しない・評価しないとする意見

何をやっているのか、よくわからない。
市民に伝わっていないと言うことは
平和の証しかもしれませんが、
もう少し伝える方法を考えて頂きたい
と思います。

40代男性

事実に基づく質問が
少ない。議員が勉強して
いない。共通のテーマに
ついては両方（行政・議会）
で努力すべき。

70代男性

●あなたは、自分の意見や要望を市議に伝えていますか。

伝えている	27	伝えていない	27

無回答：25人

・伝えていない理由

要望事項等がない	2	話しづらい	7	実現しない	6
議員を知らない	1	手段が分からない	9		

無回答：２人

平成29年３月定例会　請願・陳情等状況一覧

番　　号	請願・陳情者	請願・陳情要旨	結　　果
平成29年 請願第１号	佐久市布施1222－1 もちづき教育未来会議 会長　小林　英雄　外１名	望月高校の存続を求める意見書を提出するよう求める請願	採　　択
平成28年 陳情第14号	長野市安茂里上河原3577　長野県スキー連盟内 長野県索道事業者協議会 会長　駒谷　嘉宏	免税軽油制度の継続を求める陳情	採　　択
平成29年 陳情第１号	佐久市三河田557－29 ピースアクション佐久　会長　望月　清泰	「共謀罪」創設に反対する陳情	継続審査
平成29年 陳情第２号	佐久市岩村田1248－1　岩村田高校内 長野県高等学校教職員組合 佐久支部支部長　小林　修一	地域活性化の拠点となる望月高校の存続と35人以下学級の導入を求める意見書を県知事に提出するよう求める陳情	一項採択 二項継続審査
平成29年 陳情第３号	佐久市岩村田2169－1 りんどう会　会長　村上　裕史	指定給水装置工事事業者制度に更新制の導入を求める意見書の提出を求める陳情	採　　択

2017 議場コンサートを開催しました

３月９日の「佐久市民の日」にあわせて、議会をより身近に感じてもらうという趣旨のもと、昨年に引き続き、議場コンサートを開催しました。

演奏は、フルート奏者　矢野郁子さん、ヴァイオリン奏者　杉原桐子さん、ピアノ奏者　桜井未来さん、ドラム奏者　櫻井清隆さんの国内で活躍される４人をお招きして行われました。

曲目は、「真田丸メインテーマ曲」や「ニュー・シネマ・パラダイス メドレー」等の演奏が行われ、アンコールの「情熱大陸」の後は、皆で、市歌「佐久・わが市（まち）」を会場の皆さんと一緒に歌いました。

当日は、予想以上の市民の方が来場したこともあり、このイベントを通して議会を身近に感じていただける機会となりましたら幸いです。

あなたも議会を傍聴してみませんか

★次の定例会（平成29年６月定例会）の日程（予定）は右欄のとおりです。

★委員会審査も傍聴いただけます。
本会議同様、各常任委員会、特別委員会、議会運営委員会も傍聴いただけます。
ただし、委員会会場の都合上、希望者多数の場合は、開会前に抽選を行いますのでご了承ください。

※ご注意ください
本会議、委員会とも傍聴の際は、携帯電話の電源をお切りください。また、会議の模様を撮影、録音することはできません。

問い合わせ先　佐久市議会事務局
電話　0267－62－3495（直通）

次回定例会のお知らせ

【平成29年６月定例会】開催予定日

日	月	火	水	木	金	土
6/4	5 本会議（開会）	6	7	8	9	10
11	12	13	14 本会議（代表質問）	15 本会議（一般質問）	16 本会議（一般質問）	17
18	19	20 本会議（議案質疑）	21	22 委員会	23 委員会	24
25	26 委員会	27	28	29 本会議（閉会）	30	7/1

※日程は、諸事情により変更となる場合があります。

編集後記

この「議会だより」が皆さんの手元に届けられる頃には、議会の議員選挙も済み、市民の皆様から付託を受けた新しい議会が動き始めた頃かと思います。議会、議員の構成も大きく変わっているかもしれません。当たり前の事ですが市議会の議員も４年に１度、市民の皆さんから選挙という形で審判を受けます。その選挙の結果によっては、市の政策に大きな変化をもたらすこともあります。それが選挙なのかもしれません。しかし、どんなに議会議員の構成が変化しても、議会が求めることは、「市民幸福の追求」に尽きます。

さて、私たち広報広聴特別委員会は、この２年間で「市民の幸福の追求」のため何を実施してきたか。一番はこの「議会だより」のリニューアルに尽きます。議会の状況を正確に読みやすく、且つ読まれる「議会だより」を目指し編集に努めました。これからもこの考え方に変わりはありません。

聞かせて、あなたの夢

佐久市の小学６年生が夢を語ります **佐久っ子の夢、応援します！**

茂木（もてき）　柊人（しゅうと）さん
（泉小学校６年生）

僕の将来の夢は、農業に関わる仕事をしたいです。社会科の授業で米作りの体験をして楽しかったから。畑や田んぼにいる虫やヘビは気になりません。お米、じゃがいも、キャベツを作ってみたいです。農業は、土づくりや植え付けや収穫が主な作業だということを授業で発表しました。その他にも、養殖業、林業も勉強しています。得意な科目は、体育と算数です。サッカーのスポーツ少年団に入っているけど、この前は、１回戦で負けちゃいました。６年生では、学年委員会の委員のリーダーとして頑張りたいです。

議会の主な活動

このコーナーでは、議会が本会議以外でおこなっている主な活動を、写真で報告しています。

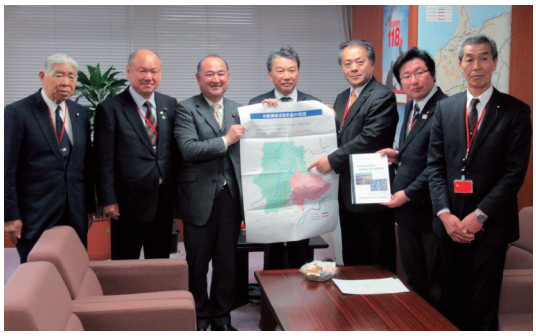
東北信９市議会正副議長会（１月11日）

東北信９市議会正副議長会を、佐久市が当番市で開催しました。東北信９市の正副議長が参集し、市内の視察をしてから、軽井沢町議会の内堀議長を講師に「議会改革について」と題して、ご講演いただきました。

東北信９市議会正副委員長研修会（１月31日）

東北信９市議会の正副議長、常任委員会の正副委員長、特別委員会の正副委員長の約140名が当番市である佐久市に参集し、意見交換しました。研修会では、政経調査会会長の朝賀昭氏を講師に、「『今なぜ、田中角栄か 』～田中角栄と地方政治～」と題して、ご講演いただきました。

中部横断自動車の早期整備に関する要望活動（2月9日）



中部横断自動車道建設促進佐久地域議員連盟は、中部横断道の早期整備を求める要望活動を実施しました。佐久市議会からは小林議長が議員連盟の副会長として大野国土交通大臣政務官に対し、長坂～八千穂間の早期事業化に向け要請しました。

エストニア共和国独立記念パーティー（2月14日）

エストニア共和国独立記念パーティーに佐久市議会を代表して小林議長が招待されました。パーティーでは駐日エストニア大使や関係者らと東京オリンピックの事前合宿等について意見交換しました。

発行／佐久市議会　〒385-8501 長野県佐久市中込3056番地　TEL.0267(62)3495(直通)　FAX.0267(62)7910(直通)　編集／広報広聴特別委員会

佐久市議会ホームページQRコード

資源保護のため植物油インキ／再生紙を使用しています。